

## 評価基準表

次の「絶対評価項目（全4項目）」及び「相対評価項目（全9項目）」の合計得点が最も高い提案者を協働事業候補者とする。

### ■絶対評価項目（30点満点）

評価項目	番号	評価内容	配点			
			A（10点）	B（5点）	C（3点）	D（0点）
事業実績	1	実務経験（制作担当者）	10年以上	3年以上10年未満	3年未満	実務経験なし
	2	類似業務等実績	10団体以上	3団体以上10団体未満	2団体以下	実績なし
業務実施体制	3	初年度校正回数（初校含む）	—	5回以上	4回	3回以下
	4	初年度以外の校正回数（初校含む）	—	4回以上	3回	2回以下

### ■相対評価項目（最高得点80点）

評価項目	番号	評価内容	配点				
			1位（10点）	2位（5点）	3位（3点）	4位（1点）	5位以下（0点）
掲載記事案	1	デザイン（見やすく、わかりやすいか）	1位（10点）	2位（5点）	3位（3点）	4位（1点）	5位以下（0点）
	2	構成（見やすく、わかりやすいか）	1位（10点）	2位（5点）	3位（3点）	4位（1点）	5位以下（0点）
	3	特集ページ（利用者にとって有益な企画か）	1位（5点）	2位（2点）	3位（1点）	4位以下（0点）	
	4	前年度からの掲載内容変更に対する対応 ※2年目以降 （ページ数の増減や新規掲載依頼記事【市要望】に対する提案・対応）	1位（5点）	2位（2点）	3位（1点）	4位以下（0点）	
	5	広告掲載業者の選定方法（利用者にとって有益な広告内容か）	1位（5点）	2位（2点）	3位（1点）	4位以下（0点）	
業務実施体制	6	事業スケジュール（適切なスケジュールを設定しているか）	1位（10点）	2位（5点）	3位（3点）	4位（1点）	5位以下（0点）
	7	市との連絡手段・校正手段（確実かつ市に負担が少ない方法か）	1位（15点）	2位（7点）	3位（3点）	4位（1点）	5位以下（0点）
ハンドブックの概要	8	仕様書「4 規格（標準）」の記載内容に対する提案 （仕様以上の提案があるか）	1位（5点）	2位（2点）	3位（1点）	4位以下（0点）	
全体	9	独自提案（市にとって有益な内容か）	1位（15点）	2位（7点）	3位（3点）	4位（1点）	5位以下（0点）

※相対評価項目の採点方法

(1)評価内容ごとに順位を付け、順位に応じた点数を配点する。

(2)評価内容ごとに同一の評価となった場合は、同順位とし、次順位は欠番とする。